

県内の景気動向

概況（2024 年 10 月）

景気は、緩やかに拡大している（14 カ月連続）

消費関連では、スーパー売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く推移しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、修学旅行シーズンとなったことや各種イベントなどを材料に好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、拡大の動きが強まるとみられる（上方修正の可能性）。

消費関連

百貨店売上高は、16 カ月ぶりに前年を下回った。気温が高い日が多く秋冬物衣料が低調となったことや、例年実施される催事企画の開催時期のズレなどが影響し前年を下回った。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに 29 カ月連続で前年を上回った。値上げによる単価上昇に加え、PB 商品や県産土産品など食料品を中心に売上げが増加した。新車販売台数は、販売が停止していた主力車種の受注再開などにより前年を上回った。家電大型専門店販売額（9 月）は、14 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県、市町村は減少したが、国、独立行政法人等・その他は増加したことから、3 カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（9 月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（9 月）は、貸家、給与は増加したが、持家、分譲は減少したことから 2 カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことから 3 カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンはともに 2 カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高は 3 カ月連続で前年を下回り、木材売上高は 2 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、35 カ月連続で前年を上回った。国内客は 4 カ月連続で増加し、外国客は 25 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 7 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに 5 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は 32 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数・売上高ともに 2 カ月連続で前年を下回った。秋の修学旅行シーズンとなったことや、各種イベントの開催などにより好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、秋の行楽シーズンによる国内客の増加も予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数（９月）は、前年同月比 9.7%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。産業別では、生活関連サービス業・娯楽業、製造業、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（９月、季調値）は 1.12 倍で、前月と同水準となった。完全失業率（９月、季調値）は 3.5%と、前月から 0.7 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数（９月）は、前年同月比 3.3%の上昇となり、37 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.1%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.6%の上昇となった。

倒産件数は 5 件で前年同月から 4 件増加した。負債総額は 5 億 3,700 万円で、前年同月比 168.5%増となった。

りゅうぎん調査（2024 年 10 月）

増減率（％）

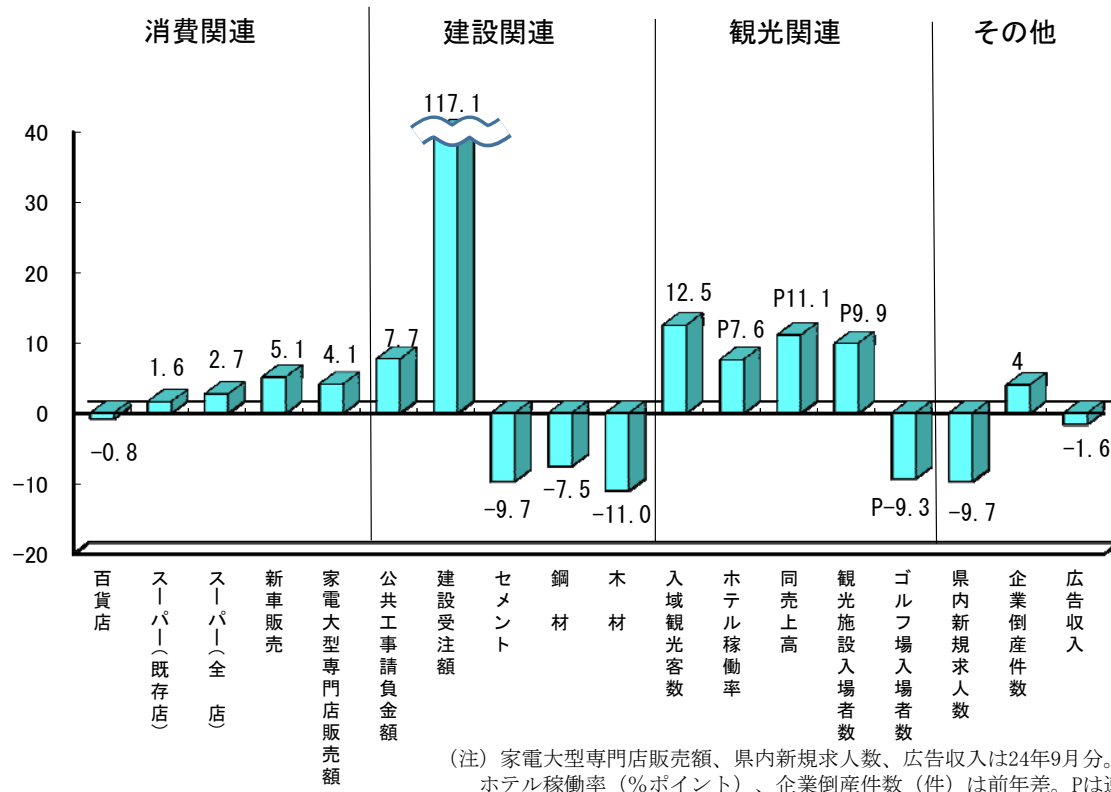
	前年同月比	前年同期比 (2024.8－2024.10)
1. 消費関連		
(1) 百貨店（金額）	▲ 0.8	5.0
(2) スーパー（既存店）（金額）	1.6	4.2
(3) スーパー（全店）（金額）	2.7	4.7
(4) 新車販売（台数）	5.1	5.8
(5) 家電大型専門店販売額（金額）	(9月) 4.1	(7-9月) 9.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額（金額）	7.7	▲ 34.1
(2) 建築着工床面積（m ² ）	(9月) ▲ 19.9	(7-9月) ▲ 6.9
(3) 新設住宅着工戸数（戸）	(9月) ▲ 4.1	(7-9月) ▲ 4.1
(4) 建設受注額（金額）	117.1	▲ 33.5
(5) セメント（トン数）	▲ 9.7	▲ 4.2
(6) 生コン（m ³ ）	▲ 7.6	▲ 1.1
(7) 鋼材（金額）	▲ 7.5	▲ 5.6
(8) 木材（金額）	▲ 11.0	▲ 6.8
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数（人数）	12.5	22.2
うち外国客数（人数）	66.6	95.8
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 7.6	(前年同期差) P 10.5
	(実数) P 71.4	(実数) P 68.3
(3) " 売上高（金額）	P 11.1	P 19.4
(4) 観光施設入場者数（人数）	P 9.9	P 22.2
(5) ゴルフ場入場者数（人数）	P ▲ 9.3	P ▲ 3.3
(6) " 売上高（金額）	P ▲ 4.5	P 2.0
4. その他		
(1) 県内新規求人数（人数）	(9月) ▲ 9.7	(7-9月) ▲ 3.6
(2) 有効求人倍率（季調値）	(9月) 1.12	(7-9月) 1.11
(3) 消費者物価指数（総合）	(9月) 3.3	(7-9月) 3.1
(4) 企業倒産件数（件数）	(前年同月差) 4	(前年同期差) 2
(5) 広告収入（県内マスコミ）（金額）	(9月) ▲ 1.6	(7-9月) ▲ 1.7

（注 1）公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

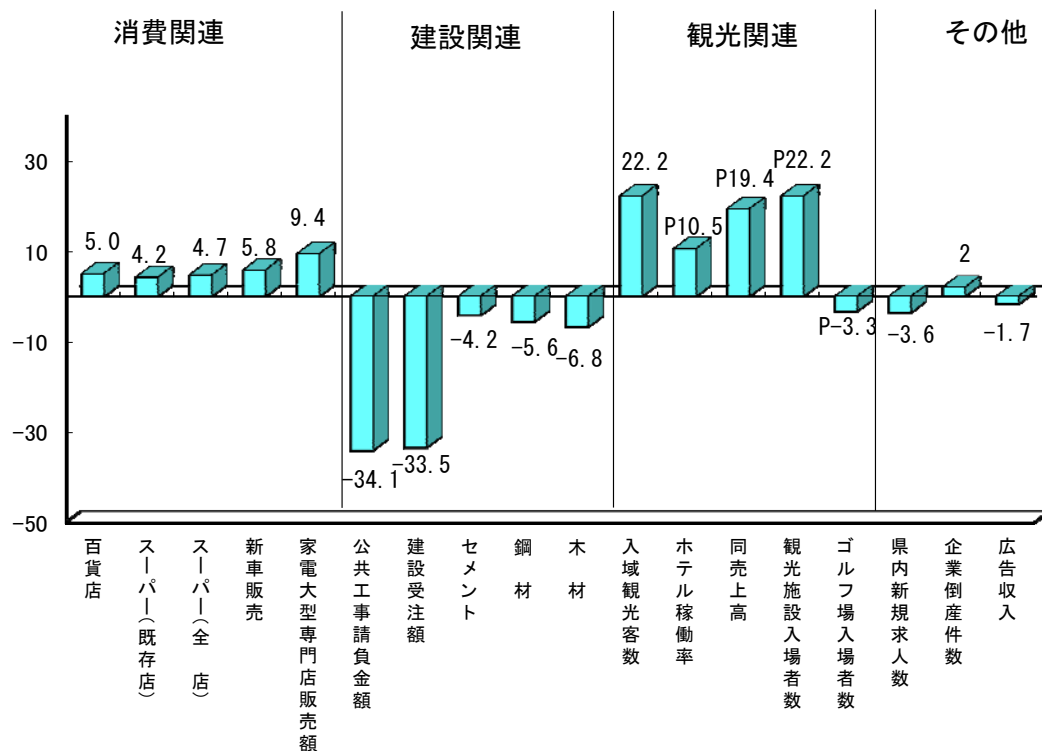
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

（注 2）有効求人倍率（季調値）と県内新規求人数（人数）は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年10月)

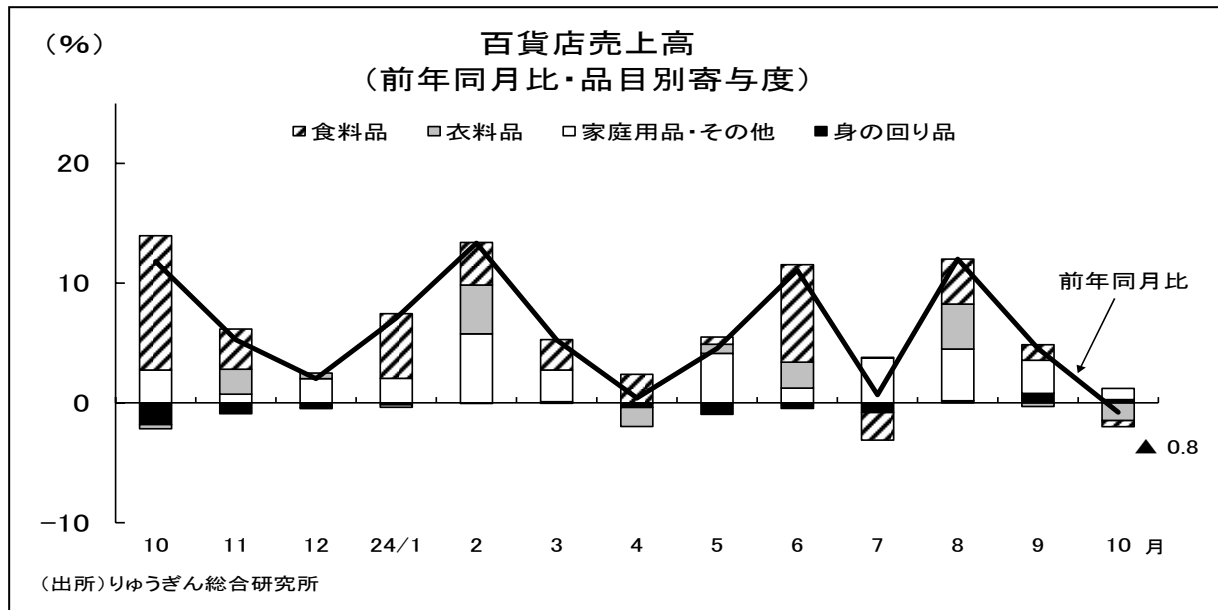


項目別グラフ(3カ月、2024年8月～2024年10月)



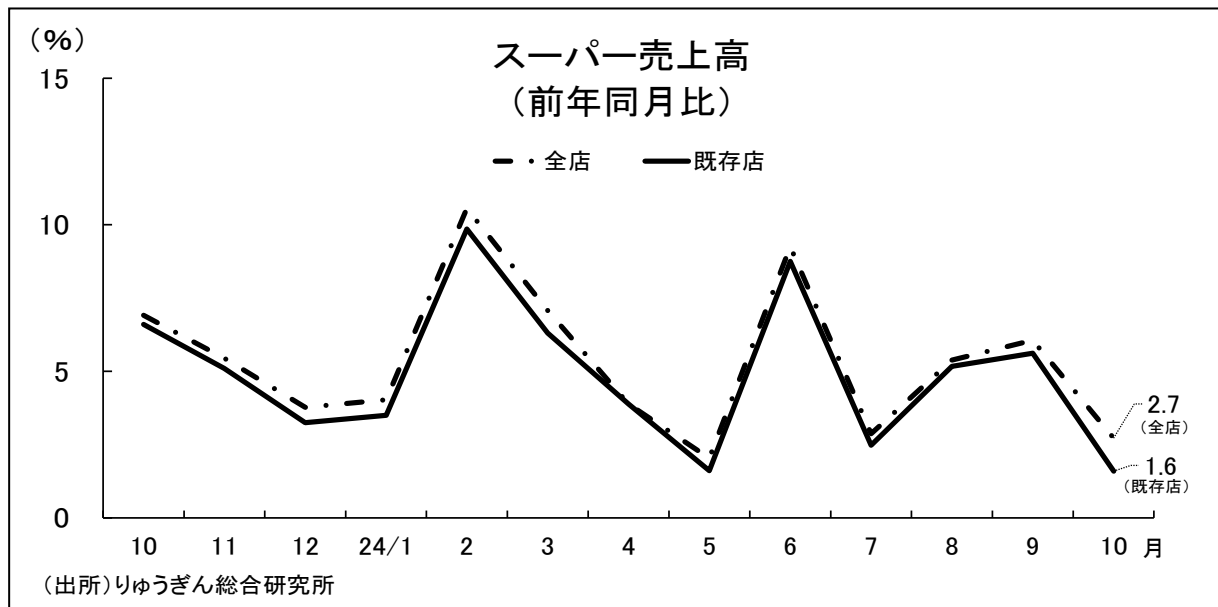
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：16 カ月ぶりに減少



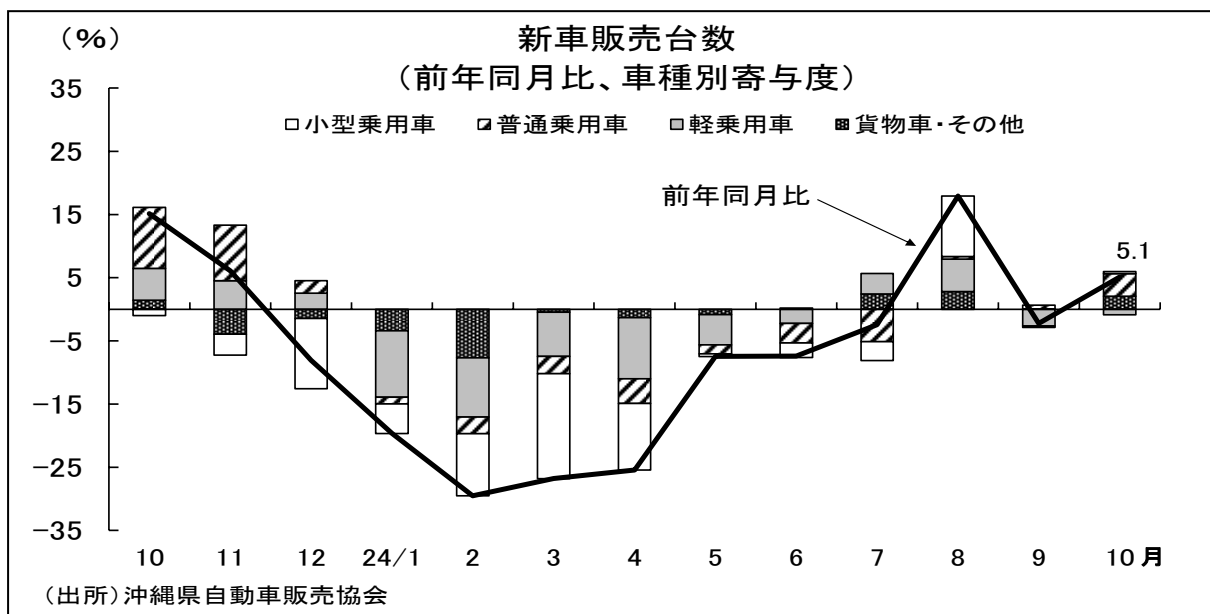
- 百貨店売上高は、前年同月比 0.8%減と 16 カ月ぶりに前年を下回った。
- 一部ショップのリニューアルオープンや新規ショップの出店に加え、沖縄初上陸となる雑貨店の期間限定ショップの展開などにより集客効果がみられたものの、気温が高い日が多く秋冬物衣料が低調となったほか、例年実施される催事企画の時期のズレなどが影響し前年を下回った。
- 品目別にみると、衣料品が同 4.7%減、食料品が同 1.7%減、身の回り品が同 5.1%増、家庭用品・その他が同 2.8%増となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 29 カ月連続で増加



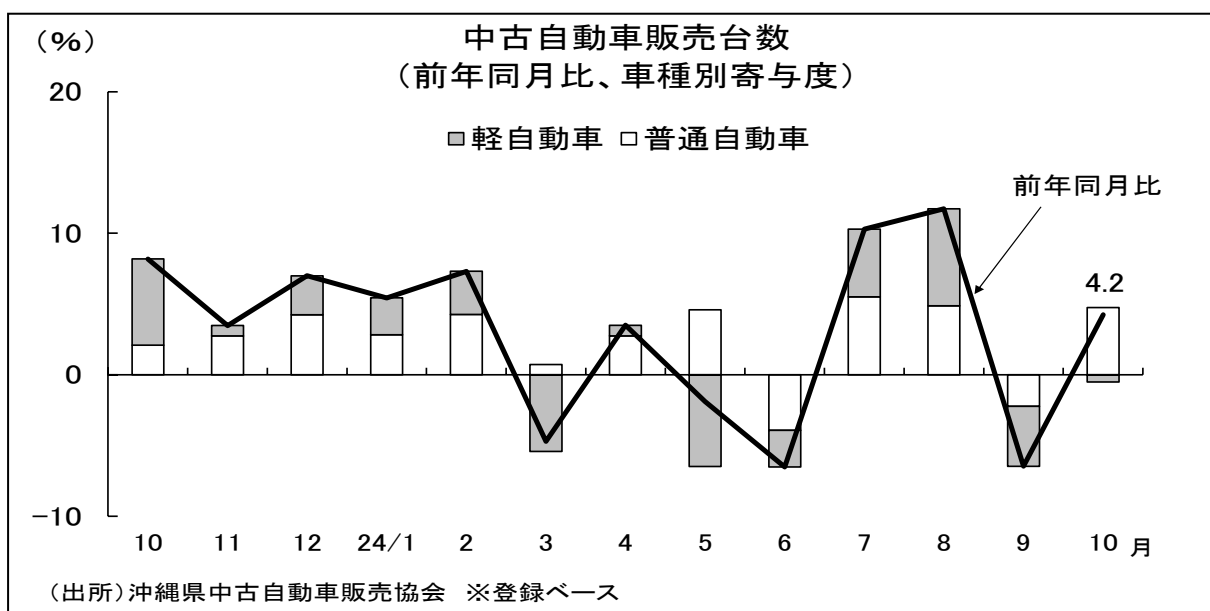
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 1.6%増と 29 カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は値上げによる単価上昇に加え PB 商品や県産土産品などが好調となり同 1.3%増、衣料品は気温が高い日が多くかりゆしウェアをはじめとした夏物衣料が好調となり同 2.8%増、住居関連は同 3.2%増となった。
- 全店ベースは同 2.7%増と 29 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月ぶりに増加



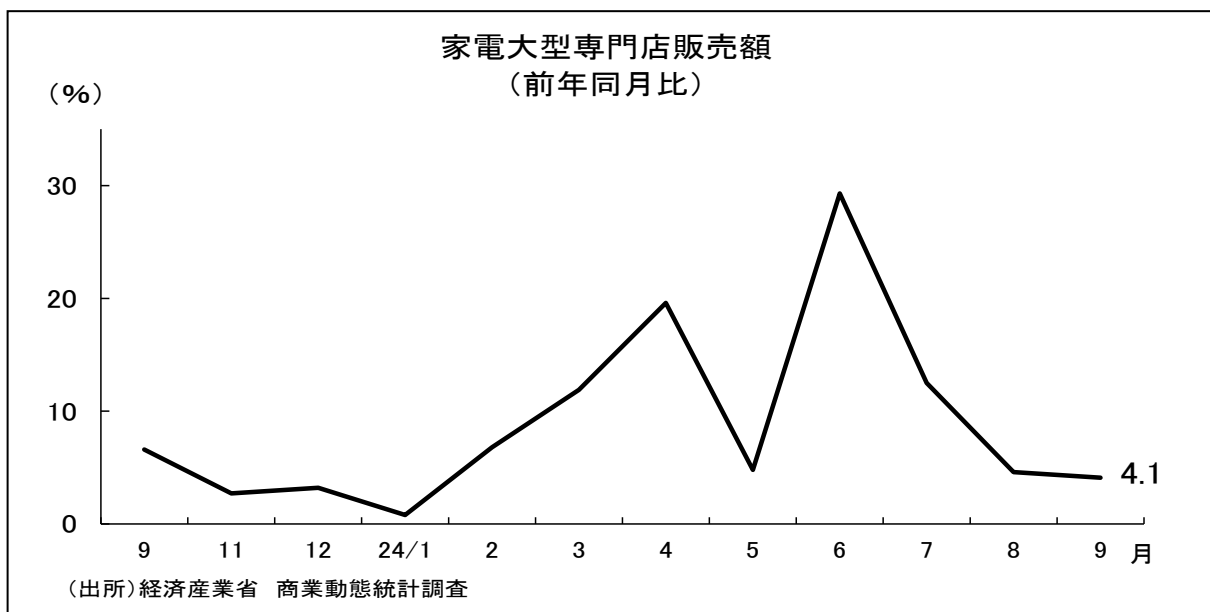
- ・ 新車販売台数は 3,773 台で前年同月比 5.1%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 販売が停止していた主力車種の受注が再開したことで新車の生産・出荷台数がプラスとなり、普通乗用車を中心に増加した。
- ・ 普通自動車(登録車)は 1,753 台(前年同月比 10.1%増)で、うち普通乗用車は 901 台(同 16.6%増)、小型乗用車は 646 台(同 1.9%増)であった。軽自動車(届出車)は 2,020 台(同 1.1%増)で、うち軽乗用車は 1,546 台(同 2.0%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：2カ月ぶりに増加



- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、2万 87 台で前年同月比 4.2%増と 2 カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が 8,351 台(前年同月比 12.3%増)、軽自動車が 1万 1,736 台(同 0.8%減)となった。

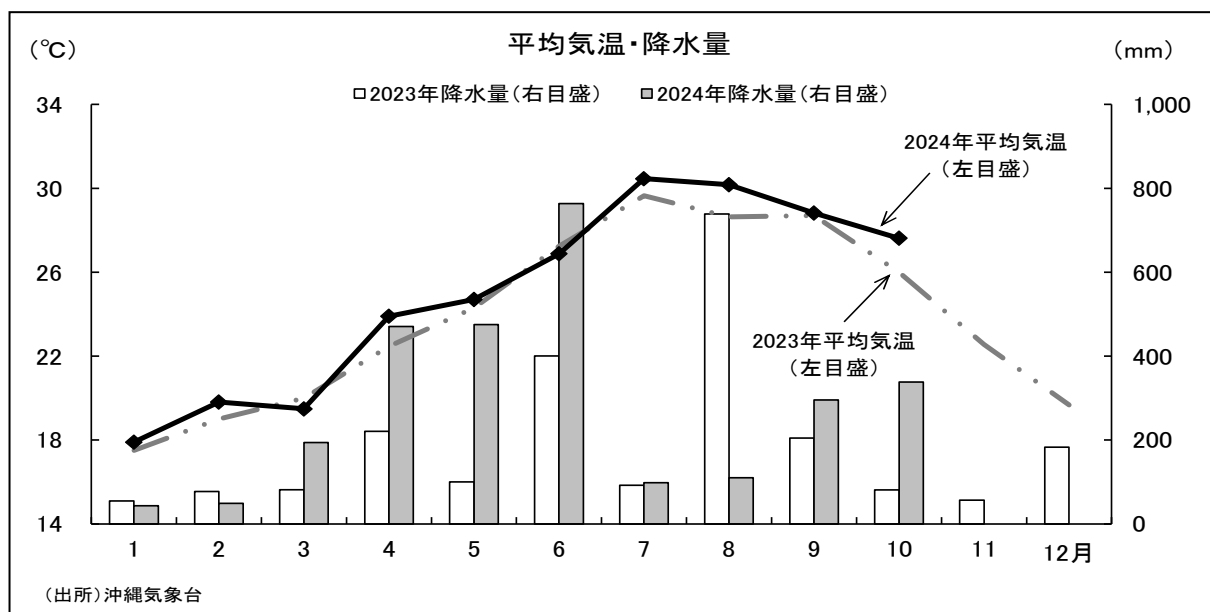
(5) 家電大型専門店販売額：14 カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（9月）は、前年同月比 4.1%増と 14 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇に加え、エアコンや冷蔵庫など白物家電を中心に好調となった。

(参考)

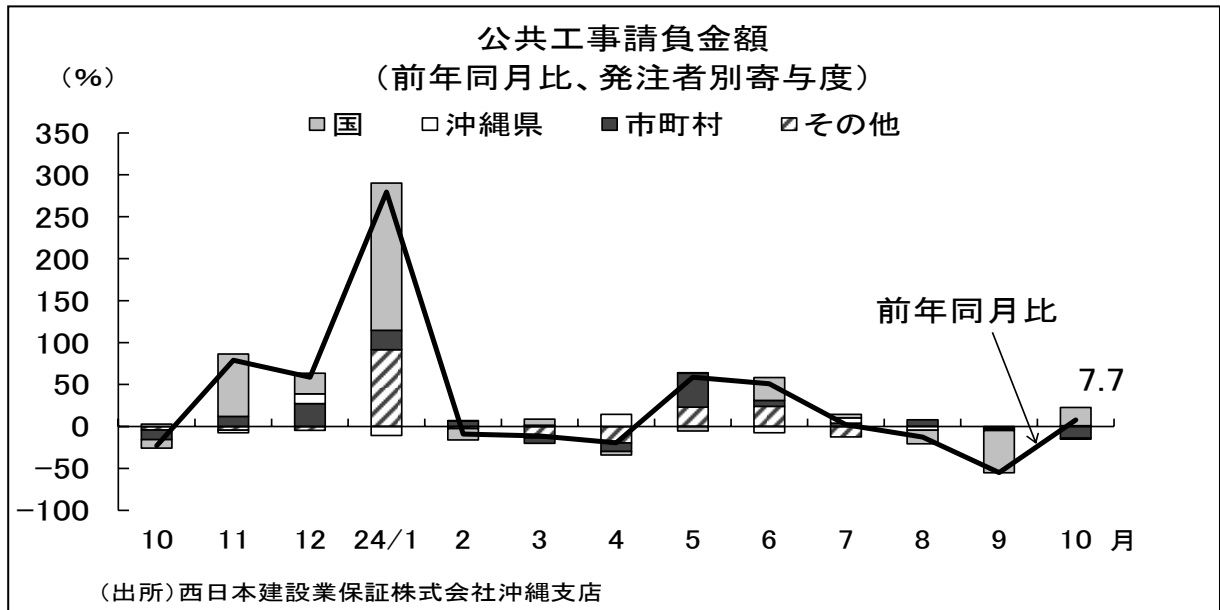
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 27.6℃で前年同月（26.0℃）より高く、降水量は 338.5mmで前年同月（81.0mm）より多かった。
- ・ 沖縄地方は、中旬を中心に晴れた日もあったが、上旬と下旬は台風周辺の湿った空気や台風などの影響を受け曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並みであった。

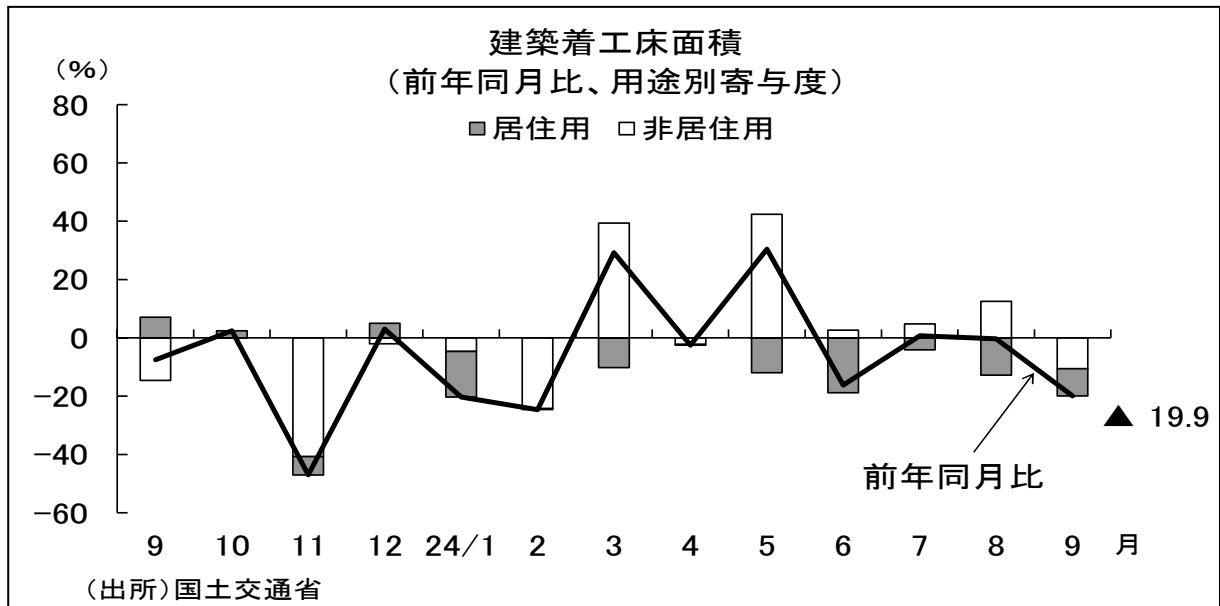
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに増加



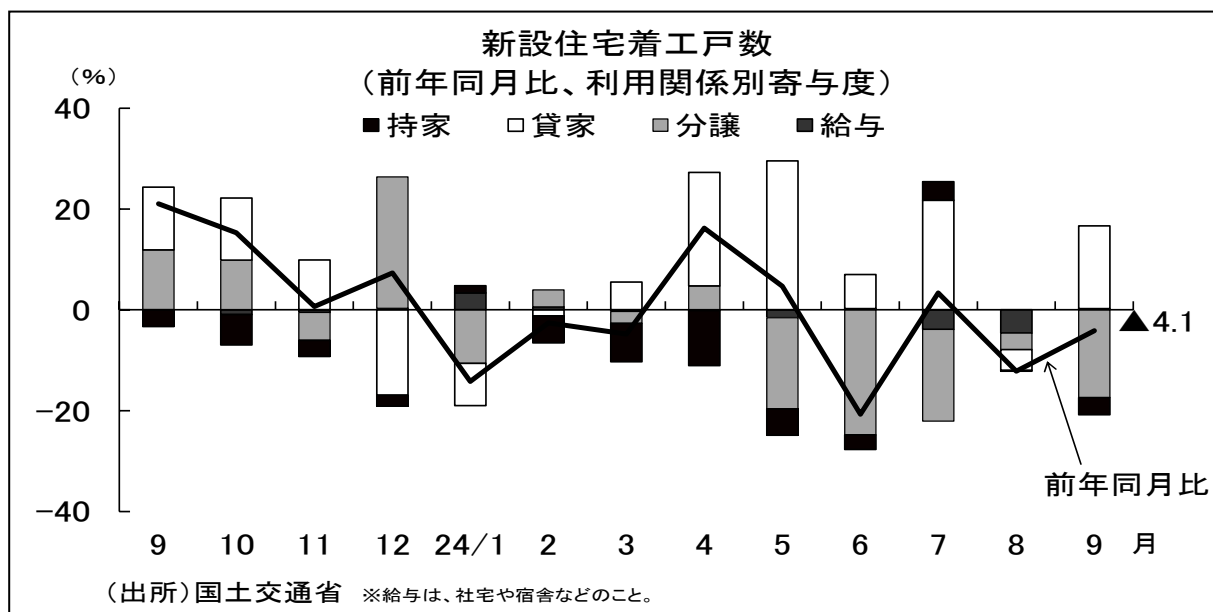
- 公共工事請負金額は、246 億 22 百万円で前年同月比 7.7%増となり、3カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、国は同 76.2%増、独立行政法人等・その他は同 36.3%増となり、県は同 4.3%減、市町村は同 31.4%減となった。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で減少



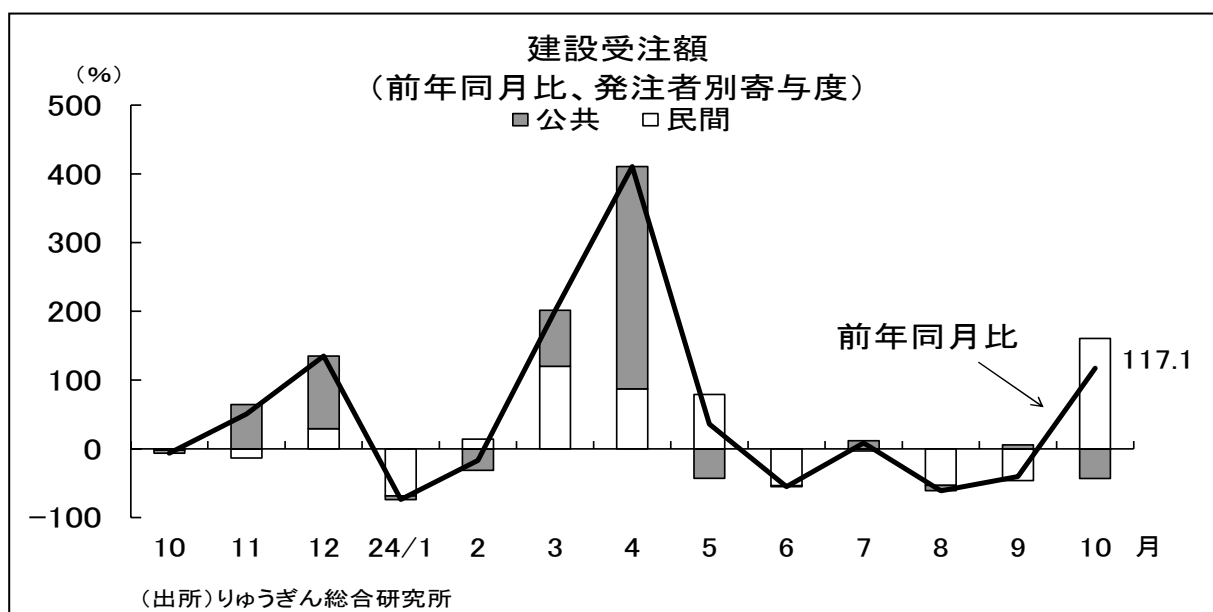
- 建築着工床面積(9月)は8万5,548㎡で前年同月比 19.9%減と2カ月連続で前年を下回った。居住用は同 14.2%減となり、非居住用は同 31.2%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、その他のサービス業用などが増加し、卸売・小売業用、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で減少



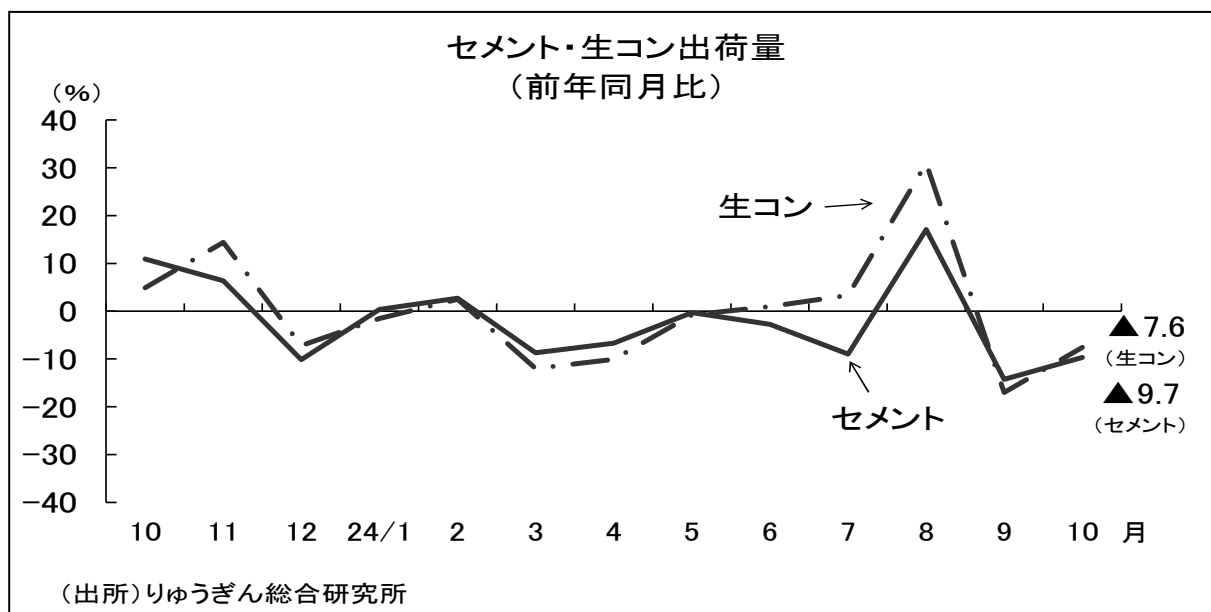
- ・ 新設住宅着工戸数（9月）は810戸で前年同月比4.1%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（498戸）が同38.7%増、給与（3戸）が同200.0%増となり、持家（195戸）が同12.9%減、分譲（114戸）が同56.3%減となった。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに増加



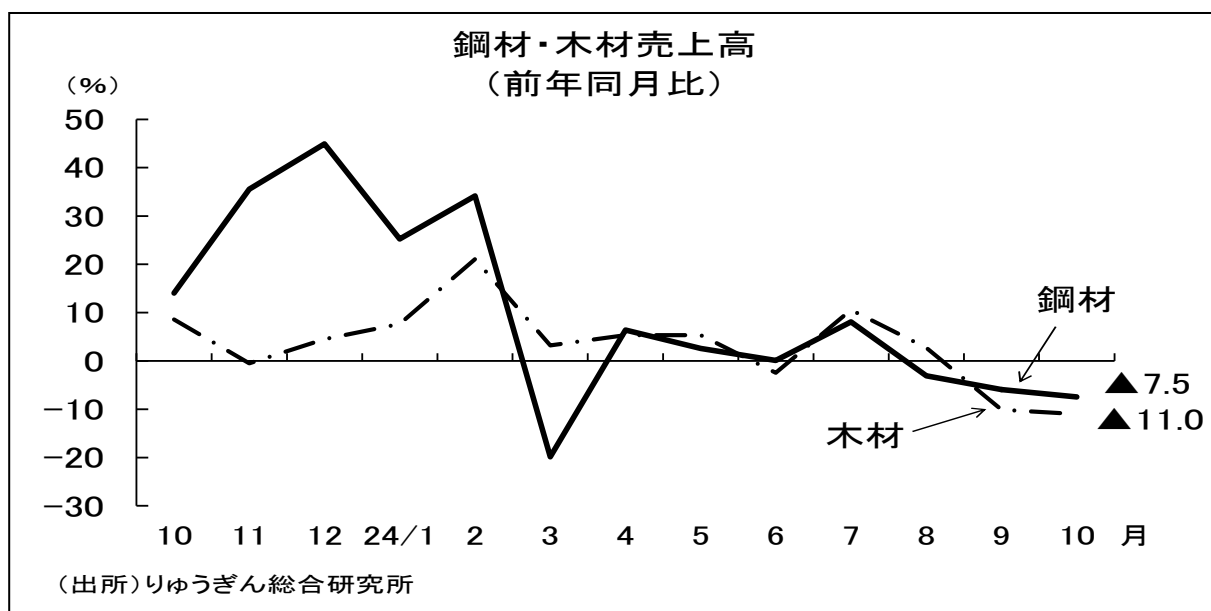
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比117.1%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同86.0%減と2カ月ぶりに減少し、民間工事は同323.3%増と5カ月ぶりに増加した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンはともに2カ月連続で減少



- ・ セメント出荷量は6万4,446トンとなり、前年同月比9.7%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は10万4,012 m³で同7.6%減と2カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、県企業局向けなどが増加し、防衛省向け、公共施設向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けなどが増加し、マンション向け、個人住宅向けなどが減少した。

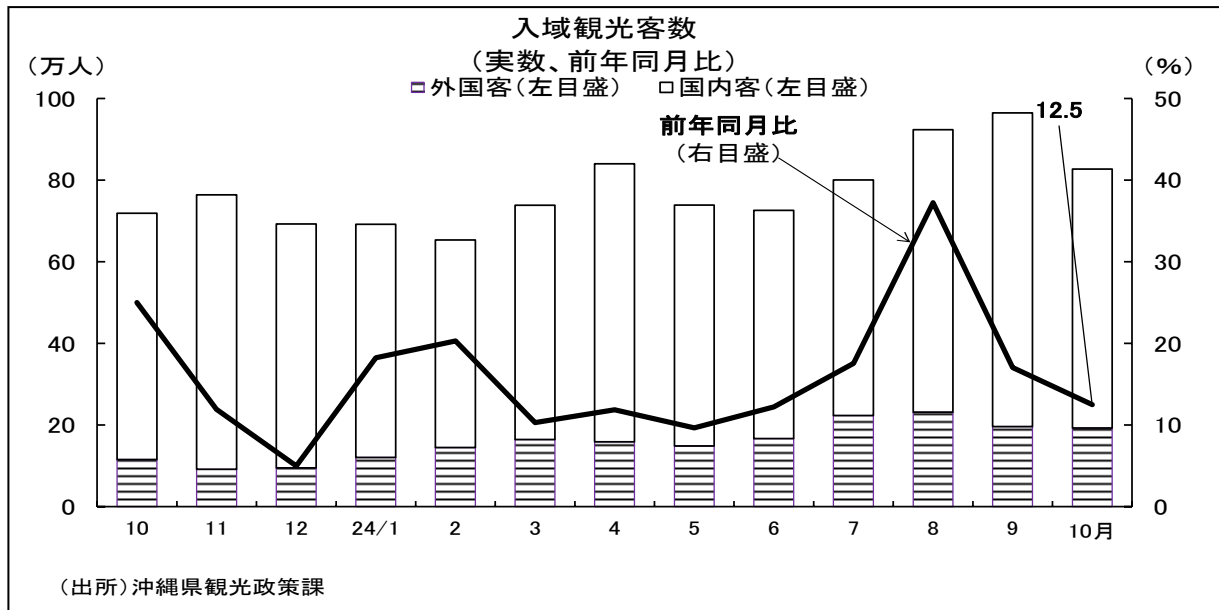
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月連続で減少、木材は2カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したことなどから前年同月比7.5%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同11.0%減と2カ月連続で前年を下回った。

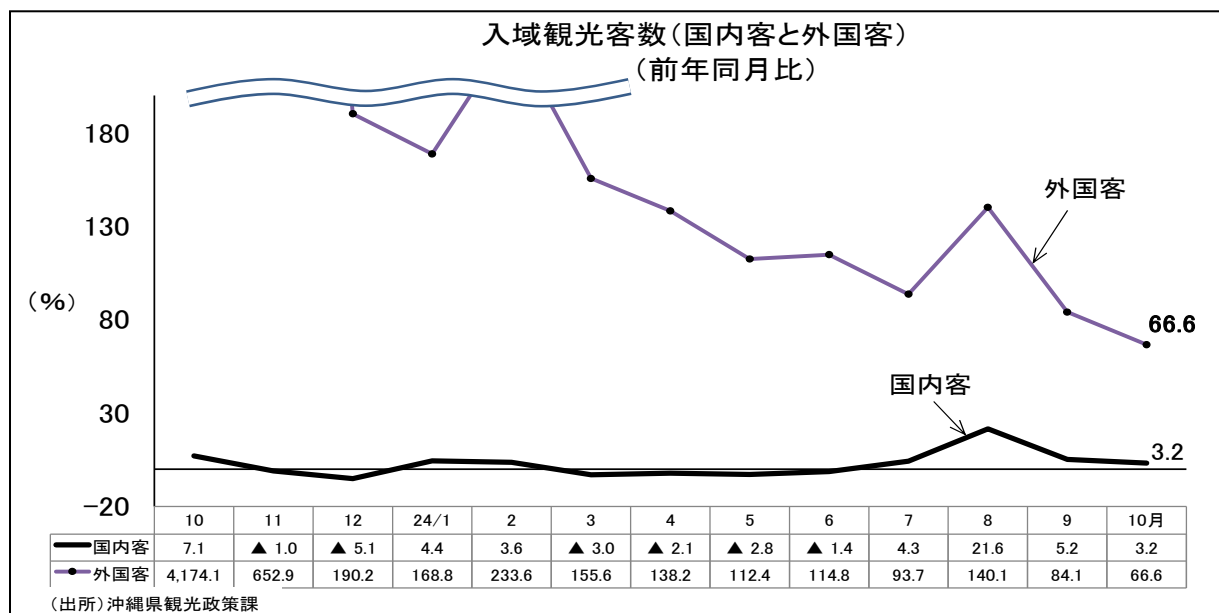
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：35 カ月連続で増加



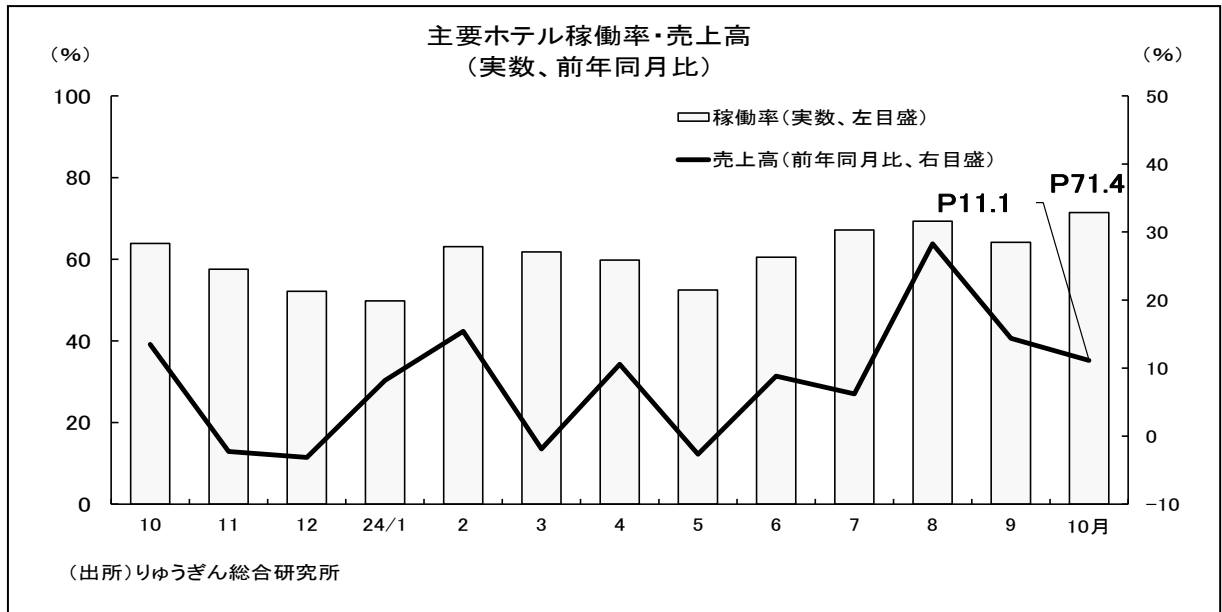
- 入域観光客数は、88 万 6,700 人（前年同月比 12.5%増）となり、35 カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は 81 万 2,600 人（同 8.9%増）となり 35 カ月連続で前年を上回った。海路は 7 万 4,100 人（同 77.3%増）となり 26 カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は 4 カ月連続で増加、外国客は 25 カ月連続で増加



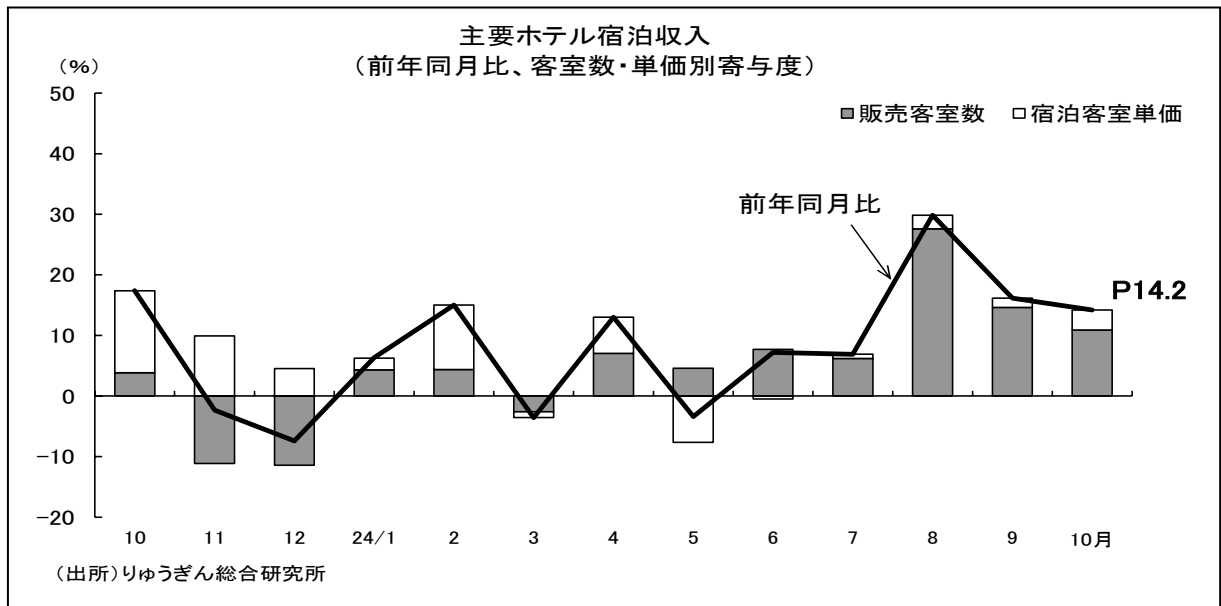
- 国内客は、69 万 4,400 人（前年同月比 3.2%増）となり、4 カ月連続で前年を上回った。外国客は 19 万 2,300 人（同 66.6%増）となり、25 カ月連続で増加した。
- 秋の修学旅行シーズンで団体客が増加したことに加え、那覇大綱挽に代表される各地の祭りなどのイベント開催などもあり、国内客が増加したほか、外国客も引き続き好調であった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は7カ月連続で上昇、売上高は5カ月連続で増加



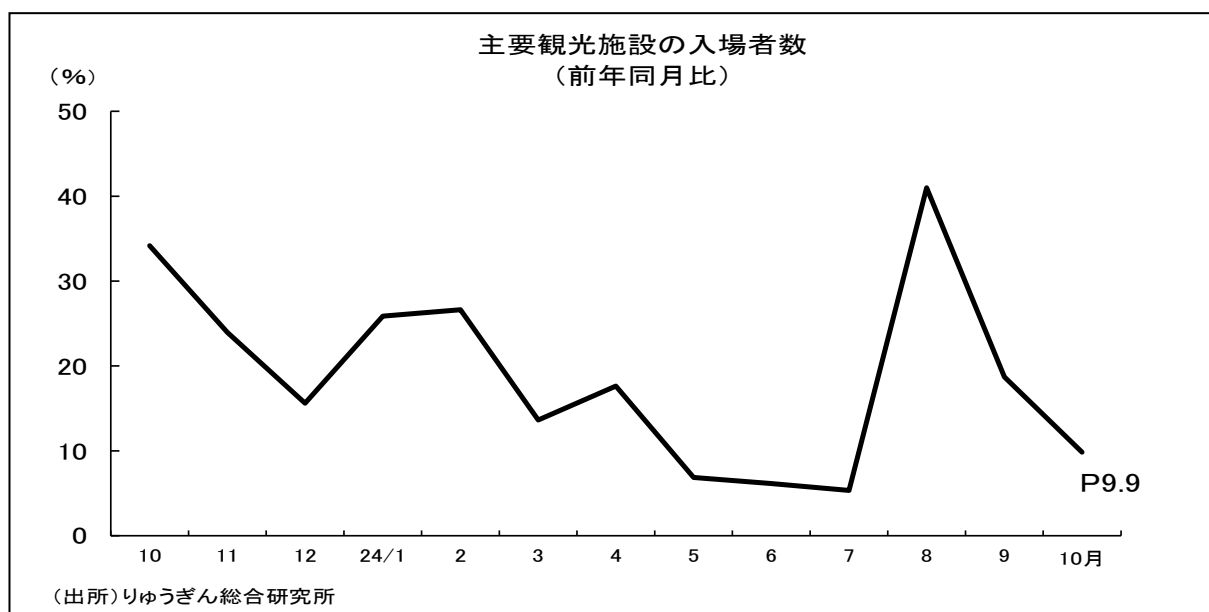
- ・ 主要ホテル（速報値）の客室稼働率は71.4%と前年同月差7.6%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比11.1%増となり、5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は76.2%と同15.4%ポイント上昇し、10カ月連続で前年を上回り、売上高は同30.2%増と11カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は69.7%と同4.7%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回り、売上高は同8.1%増と5カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：5カ月連続で増加



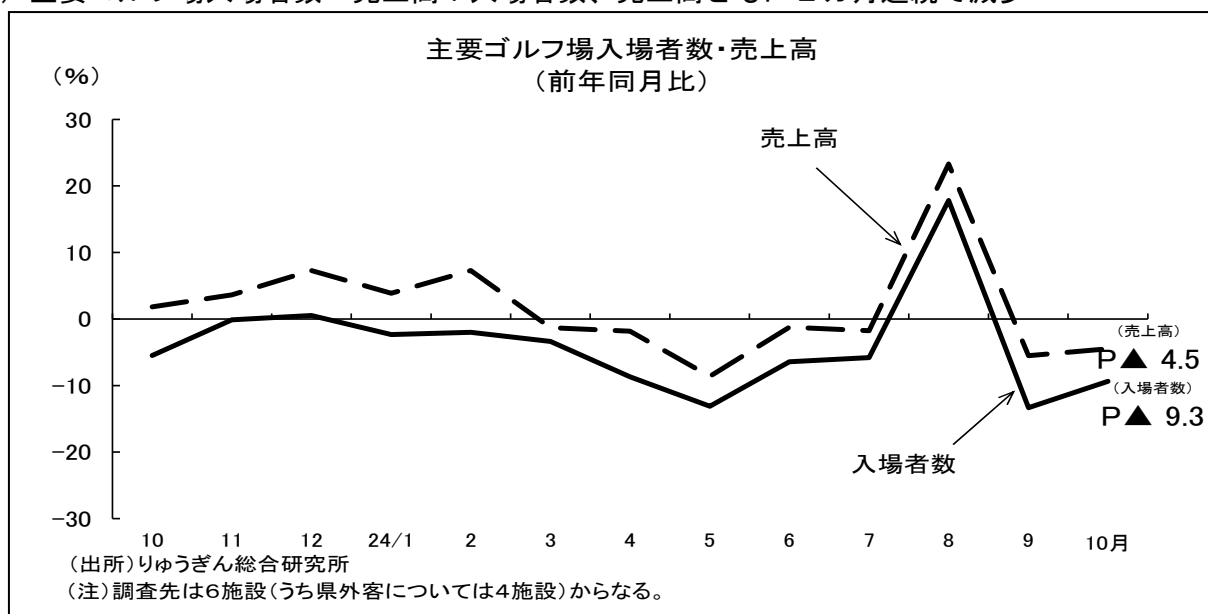
- ・ 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比14.2%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同32.5%増となり11カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同11.2%増となり5カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：32 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 9.9%増と 32 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 国内外からの個人やグループ等の個人旅行のほか、修学旅行も増加した。

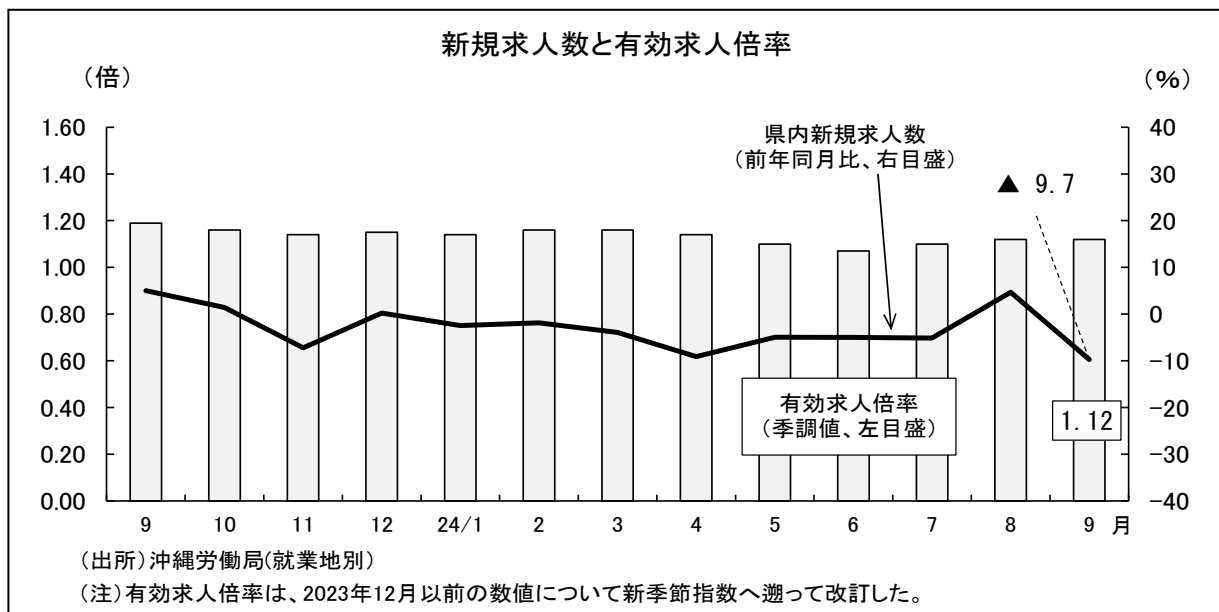
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに 2 カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 9.3%減と 2 カ月連続で前年を下回った。県内客・県外客ともに 2 カ月連続で前年を下回った。売上高は同 4.5%減と 2 カ月連続で前年を下回った。
- ・ ゴルフシーズンで予約状況は前年とほぼ同様であったものの、天候不良によるキャンセルが多く、入場者・売上ともに減少した。

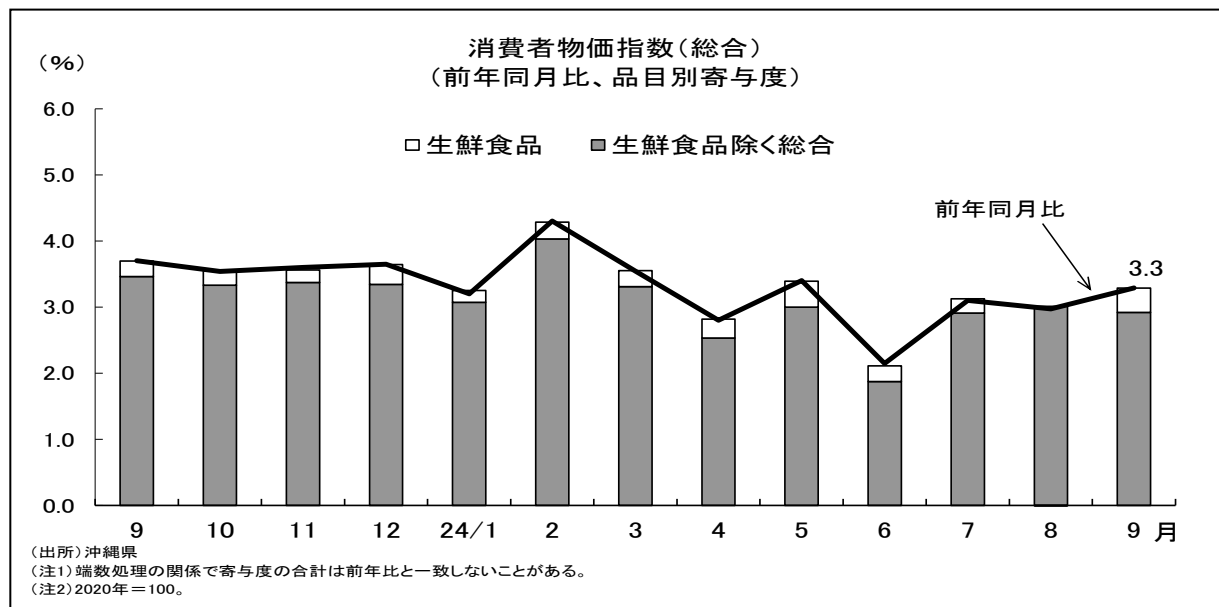
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は同水準



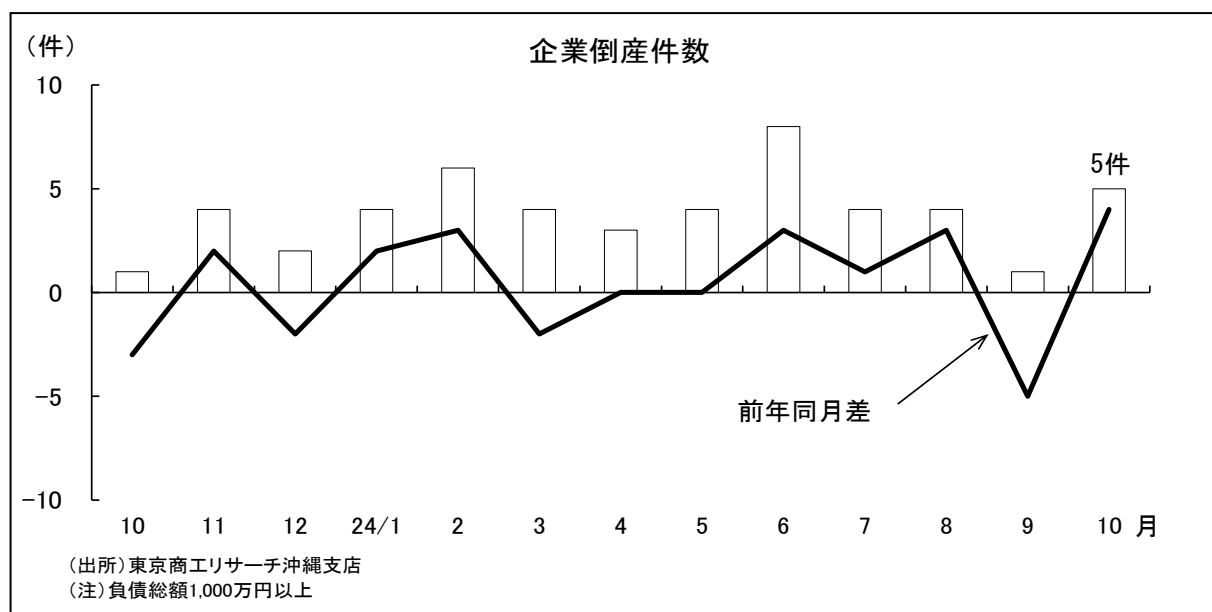
- 新規求人数（9月）は、前年同月比 9.7%減と2カ月ぶりに前年を下回った。産業別では、生活関連サービス業・娯楽業、製造業、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率（9月、季調値）は1.12倍で、前月と同水準となった。
- 労働力人口（9月）は、80万人で前年同月比1.5%増となり、就業者数は、77万2,000人で同1.4%増となった。完全失業者数は2万8,000人で同3.7%増となり、完全失業率（9月、季調値）は3.5%と、前月から0.7ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数（再掲）：37カ月連続で上昇



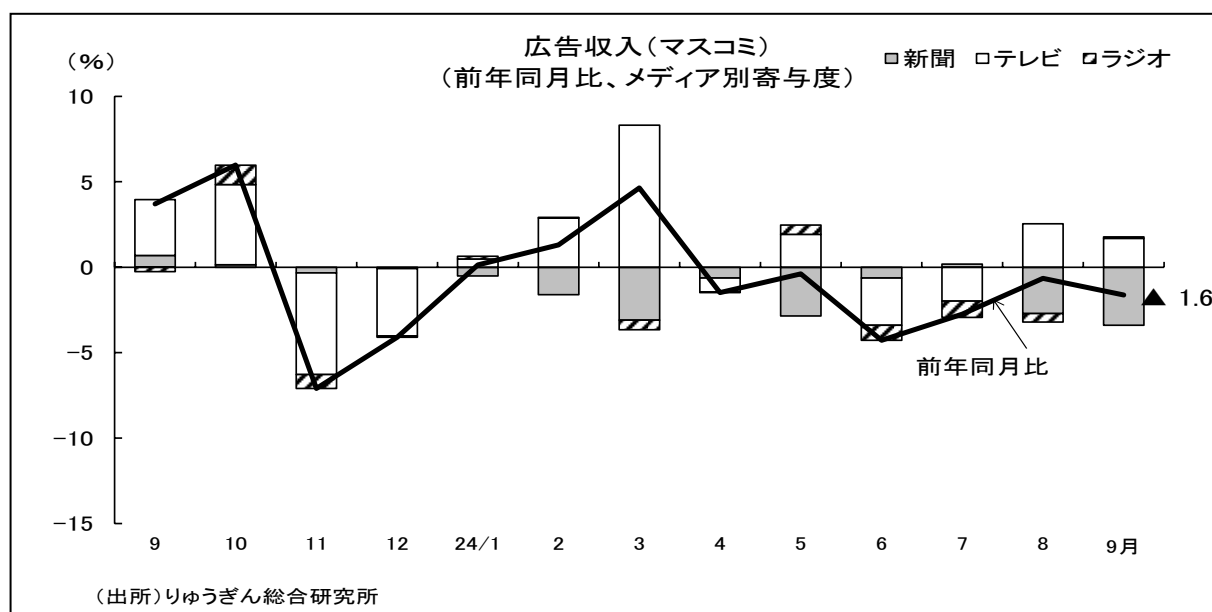
- 消費者物価指数（9月）は、前年同月比 3.3%の上昇となり、37カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.1%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.6%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、光熱・水道などで上昇し、交通・通信で下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は5件で前年同月から4件増加した。業種別では、小売業が1件、不動産業が1件、サービス業他が3件となった。
- ・ 負債総額は5億3,700万円で、前年同月比168.5%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：6カ月連続で減少



- ・ 広告収入（マスコミ：9月）は、前年同月比1.6%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・ レジャーや旅行業などの広告が増加したが、通販関連は引き続き低調であった。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2023 9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	-	5.1	4.2	24,622	7.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	-	-	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	P62.9	3.3
2023 9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	P6.1	▲ 6.4
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	P5.3	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	P40.1	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	P61.0	35.4	P10.2	P17.5	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	P69.7	30.2	P8.1	P9.9	P▲ 9.3
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2023 9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	3.1	3.3	2.0	1.10	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.5	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	-	-	-	-	-	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2023 9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	—	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	—	—	—	—	—	—	62,115	1.5	43,558	4.6
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	—	—	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	—	—	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	—	—	52,671	288,310
2023 9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	—	—	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	—	—	2,062	14,711
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。